

報 謝
恩 徳

秋の誘い
いざな

衣替えの時季といつても歩けば汗ばむほどです。スーツを着込もうかという気分になれぬ人も多い中で、指宿は今月末までアロハ着用でき、有り難く思うのは私ばかりではないようです。

夏物と秋物が同居しながら、確実に「衣替え前線」は、列島を南下してきます。

「衣」には着る人の魂がこもるといわれます。

襟を正す、禪（ふんどし）を締めてかかる、袂（たもと）を分かつゝ等々。心の有り様を表す衣偏の漢字があることを考えると、衣替えは、心まて入れ替える儀式なのかもしれません。

萩。草冠（くさかんむり）に「秋」と書くほどだから今の季節を代表する花に違いありません。

風にゆれる萩もそうですが、ススキも私たちを秋へ誘ってくれているかのようです。

秋に降る雨を「萩散らし」と呼びます。冬への装いを急ぐ木々を濡らしながら、そぼ降る雨のことです。

「水声（すいせい）に秋あり」秋には、雨の音さえ秋の装いになるといふことなのでしょう。西行法師は「松風の音のみならず石走（いわばし）る水にも秋はありけるものを」と詠んでいます。

水の音にさえ秋を感じるような西行の感性には恐れ入ります。

さて、わが国ほど記念日の多い国はありませんが、10月11日はウインクの日です。そう言われると、10と11を並べて右に90度倒すと、片方の目をつぶってウインクをしているように見えます。

例年になく暑かった今年の夏の記憶も急速に薄れ、心地よい秋風を満喫しつつ、秋からウインクを送られていると思えば、ほほ笑ましく、ちょ

っとお茶目な感じがして楽しくなります。

10日は「体育の日」です。食欲の秋、スポーツの秋です。指宿市は「健幸のまち」を目指しています。健康で長生きするために、秋を体いっぱい感じながら歩いてみたらいかがでしょうか。新たな秋を見つめながら、さわやかな空気の中で汗を流すのもいいものです。

秋は歩を速めながら列島を南下しています。紅色や黄色が追いかけてくる豊かな湯の里の秋の誘いです。

指宿市長 豊留悦男

